

(学年) 第 1 学年、(教科・科目) 数学科・数学 I

一斉学習

(単元) 散布図

(本時のねらい)

2つの変量からなるデータにおける2つの変量の関連を視覚的に捉える散布図を学び、散布図から2つの変量の関係を読みとる力を養う。

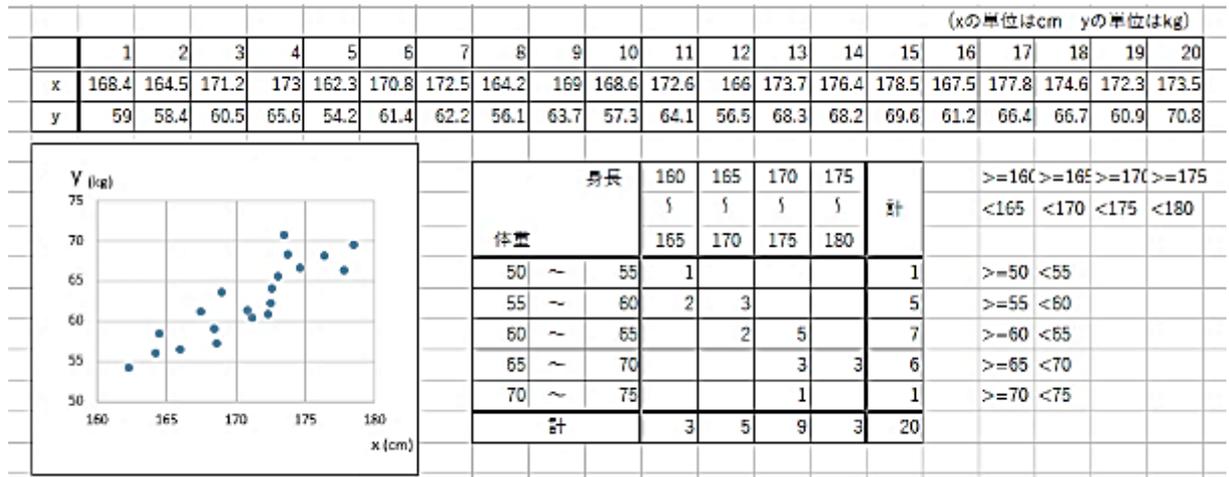
(ICT 活用方法)

表計算ソフトを利用して、散布図及び相関図を作成する。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT 活用方法
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> 例を元に散布図や用語について確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 2つの変量の関連性を視覚的に捉えるようにするために散布図があることを理解させ、散布図から相関の傾向を読み取ることがを説明する。 	
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> 練習 12 を解く。 練習 12 を、表計算ソフトを利用して散布図及び相関表を作成する。 気象庁などにある統計データを取得し、相関関係があるかどうかを調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相関表の説明をして、練習 12 の問題を利用して相関表も作成させる。 気象データや農産物の生産量、都道府県や市町村単位の人口などの統計データを利用し、相関関係を調べさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトを利用してデータを入力したのちに散布図を作成し、合わせて相関表も作成する。(数字だけを入力するのではなく、関数を利用して作成させる。)
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめをする。 		

(授業の様子)



(生徒の反応と課題、改善を要する点)

COUNTIFS 関数を用いて相関図を作成したが、作成の仕方を説明しても難しい様子で時間がかかってしまった。散布図や相関表を見て相関があることは理解できているが、散布図では右上がりになっているのに対して相関表では右下がりになっていることに疑問を持つ生徒が多数いたので、その点の気付きに対して丁寧に補足をする必要があると感じた。